

# 新型コロナウイルス感染症について

**一人ひとりが『新しい生活様式』を！  
一人ひとりでできる『感染予防対策』を！**

## 人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。  
新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p><b>1</b> ビデオ通話で<br/><b>オンライン帰省</b></p>      | <p><b>2</b> スーパーは1人<br/>または<b>少人数で</b><br/>すいている時間に</p>    | <p><b>3</b> ジョギングは<br/><b>少人数で</b><br/>公園は<b>すいた時間、</b><br/><b>場所を選ぶ</b></p>  |
| <p><b>4</b> 待てる買い物は<br/><b>通販</b>で</p>        | <p><b>5</b> 飲み会は<br/><b>オンライン</b>で</p>                    | <p><b>6</b> 診療は<b>遠隔診療</b><br/>定期受診は間隔を調整</p>                                |
| <p><b>7</b> 筋トレやヨガは<br/><b>自宅で動画を活用</b></p>  | <p><b>8</b> 飲食は<br/><b>持ち帰り、</b><br/><b>宅配も</b></p>      | <p><b>9</b> 仕事は<b>在宅勤務</b><br/>通勤は医療・インフラ・<br/>物流など社会機能維持<br/>のために</p>      |
| <p><b>10</b> 会話は<br/><b>マスク</b>をつけて</p>      | <p><b>3つの密を避けましょう</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 換気の悪い密閉空間</li> <li>2. 多数が集まる密集場所</li> <li>3. 間近で会話や発声をする密接場面</li> </ol> |  |
|   |   | <p><b>手洗い・</b><br/><b>咳エチケット・</b><br/><b>換気や、健康管理</b><br/>も、同様に重要です。</p>   |

### 佐治町まちづくり協議会 地域・環境部 より



佐治町まちづくり協議会 地域・環境部では、今年度の事業として、スイセンと彼岸花などの花植を予定しています。そこで、お願いです！！  
スイセンと彼岸花の球根をお持ちの方は、寄附して頂けないでしょうか？寄附していただける方は、佐治地区公民館までご連絡下さい！よろしくお願いいたします。

問合せ：佐治地区公民館 TEL:88-0228 FAX: 88-0219

# Saji

佐治地区公民館だより

住所：鳥取市佐治町加瀬木2542-1  
TEL：0858-88-0228  
FAX：0858-88-0219

2020・6・1 JUNE Vol.144

Email:cc-saji@it.city.tottori.tottori.jp

Saji Chiku Kouminkan

2020.6月号

TOGETHER WE CAN DO ANYTHING



- ★ 子ども世代には夢を！
- ★ 現役世代には希望を！
- ★ 高齢者世代には安心を！

令和2年度、佐治町まちづくり協議会総会が、4月20日(月)に行われ、すべての議事が承認されました。各振興協議会役員さんにも、部に入っていたいただき、協議会と地域がつながるまちづくりを目指します。

## 令和2年度まちづくり協議会委員紹介



会長

❖ 小谷 繁喜

副会長

❖ 田中 早雄  
❖ 下石 聡子



### 健康・福祉部

- ❖ 部長 河田福美
- ❖ 副部長 田中寿彦
- ・木村次夫 ・西尾はつ子
- ・岸田清秀 ・中島夕子
- ・松田鉄也 ・岡本佐枝子
- ・南條弓子 ・下石聡子
- ・光浪明美 ・南條芳浩
- ・谷上節雄 ・岸田みち代
- ・奥田哲実 ・小谷龍夫
- ・井上幸雄

### 文化スポーツ部

- ❖ 部長 宮本 敦
- ❖ 副部長 西尾和人
- ・岡村寛道 ・田中早雄
- ・中谷頼康 ・小谷喜典
- ・小林憲二 ・藤原直子
- ・竹本訓枝 ・岡本公孝
- ・谷口輝男 ・栗谷真由美
- ・茂上明德 ・山本春美
- ・村口友哉 ・山本好夫
- ・小谷幹雄 ・板垣良男
- ・下石順一 ・西尾伸二

### 地域・環境部

- ❖ 部長 谷口 武
- ❖ 副部長 西尾寛茂
- ・谷口勝男 ・福安 修
- ・竹本 隆 ・小谷長司
- ・竹本浩一 ・村上昌嗣
- ・小谷繁喜 ・小林慶治
- ・藤原茂広 ・西田美代枝
- ・長谷直温 ・中村敬三
- ・南條君則 ・西村久美子
- ・小谷聡子

### 広報部

- ❖ 部長 竹村智行
- ❖ 副部長 織部隆明
- ・山下 晶

### 公民館事業部

- ❖ 館長 ・竹本康宏
- ❖ 主任 ・伊福部千恵美
- ❖ 主事 ・中谷亜紀
- ❖ 主事 ・中谷晴子

# 鳥取信用金庫 用瀬支店にて



鳥取信用金庫 用瀬支店の方より、佐治地区公民館に展示依頼があり、5月18日(月)から約1ヶ月半、佐治町の神楽獅子舞の写真展示を開催することとなりました。

期間中、近くを通られた際には、是非、お立ち寄りください。

## 佐治町の神楽獅子舞 写真展示 開催中

つなげよう! ともだちの **わ!!**

森田 きくのさんからの紹介

✦佐治人権福祉センター習字教室つながり...

**小谷 栄子さん 津野**

133人目

### 『私の住むところ』

昨年末、寝室の窓際の障子の貼り替えをするために障子を四枚外したまま数日過ごした時のことです。

目の前には、どこまでも続く山の峰と広い空とアストロパークのツインドームがそして、夜は満天の星空が広がっていました。いつまでも眺めていたくて時間を忘れるほどでした。癒されます。

実生活では、そんなのんびりしたことばかりは言っていただけませんが、深呼吸できる場所に暮らしていることは、幸せだと改めて気づきました。世界的に新型コロナ感染症もあり陰鬱な世の中になっています。もしかして、田舎のほうが安全で豊かな暮らしができていないのでしょうか。

便利さや華やかさも必要です。偏りすぎないように、ある程度時代にもついていけるよう私なりにバランス良く生活できたらいいなと思っています。

## ダム探検

中谷 晴子の 第9回目は、益田川ダムの紹介です! (治水専用ダム)

### ダムの構造

益田川ダムの大きな特徴は、常用洪水吐(ゲートなし、2孔)を河床部に設置したことです。そのため、平常時は貯水池に貯水せず流下してくる土砂を流水と一緒に下流に排砂し、また、益田川に生息する魚類がダム上流に遡上することが可能な構造となっています。

#### ランダム情報

水を貯めないダムであることから、貯水池上流及び周辺一体を地域活性の場として活用できるため、スポーツ交流広場などを整備し、年間約7万人の利用者で賑わっている。

#### こだわり技術

洪水が発生した場合、洪水流量を調節して、益田川流域の人命や資産を守るために建設された益田川ダムは、**防災に特化したダムで、河床部に常用洪水吐があるため平常時は貯水池に貯水しない珍しいダムである。**

**G・重力的コンクリートダム**

所在地: 島根県益田市久々茂地先  
 河川名: 2級河川益田川水系益田川  
 ゲート: 自然調整方式  
 堤高・堤頂長: 48m・169m  
 総貯水容量: 675万m<sup>3</sup>  
 管理者: 島根県  
 本体着工/完成年: 2001/2006

F・洪水調整  
 N・河川の正常な流量の維持  
 W・上水道  
 I・工業用水  
 A・かんがい  
 P・発電

## 歴史小話 SAJI

歴史探検家 西尾正之氏

### 【佐治歴史小話・18】 戦国時代の佐治⑤

話を元に戻す...信長・秀吉は支配した土地の施政方針として、自作農設定主義を強行した。自作農から大名がじかに租税を取るやり方だ。この新制度を妨げるのが、日本の津々裏々に盤据(ばんきょ=根を張って動かない)した地侍だったのだ。彼らは豊臣政権に反対して各地で一揆を起した。秀吉はこれら一揆のことを「刀狩り」と云い、いちいち過剰なほどの大兵力を投入、徹底的にこれを潰した。その後、「檢地」を行い、トドメをさした。秀吉が目指したのは明らかに「兵農分離=士農分離」を目的としている。1581(天正9)年秀吉は但馬の国から氷ノ山を越え春米・若桜・河原を通り、鳥取に布陣した。秀吉はなぜこんな。山道を通ったのか...?

これより少し前、但馬の国で小代一揆(おじろいっき)と云う激しい一揆が発生している。但馬守護・山名棟豊には鎮圧の力はなく、秀吉に依頼した。秀吉は徹底的に、これを鎮圧。この残虐非道ぶりを聞いて驚いたのは、東隣・因幡の国人・地侍だった。明らかな「ミセシメ」である。そして1581(天正9)秀吉による鳥取城攻略・この戦いは「餓え殺し(かつえごろし)と後世 いわれた。その後、近江国出身の宮部善祥坊継潤(ミヤベ、ゼンショウボウケイジュン)が鳥取城に入り、因幡の国の戦国時代は終わり、地侍は四散した。尚、佐治に伝わる近江ノ国との関係を示す伝説が多い。

【文責...西尾正之】

2019年よりスタートした歴史小話SAJIは今回を持って終了とさせていただきます。今まで、長きにわたって、執筆頂き、感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。